

宮労発基 0630 第 3 号
令和 4 年 6 月 30 日

別記関係団体の長 殿

宮城労働局長

死亡災害の多発を踏まえた安全管理の徹底について（要請）

平素から、労働行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県内では死亡災害が多発しています。今年に入ってから労働災害による死亡者は 8 名となり、このうち 4 名の労働者が 6 月中に亡くなっています。

今年発生した死亡災害の概要は別紙のとおりです。

業種別では建設業が 3 名、製造業が 2 名、道路貨物運送業が 2 名、その他の事業が 1 名となっていますが、事故の型別では「はさまれ、巻き込まれ」のほか、「転倒」や「交通事故」など様々となっています。また、県内では昨年からの労働災害による死傷者が増加傾向にある上、労働者以外の個人事業主が死亡したものや、幸い死亡には至らなかったものの重篤な労働災害なども頻発しています。このため、県内すべての事業場において、労働者以外の方々も含めて、職場を再点検し、安全管理を徹底することが必要となっています。

については、各団体におかれましては、7 月 1 日からの全国安全週間を目前に控えています。このような憂慮すべき状況にあることを改めてご認識いただき、安全パトロールなどに積極的にお取り組みいただくことや、傘下会員事業場等に対する安全管理の徹底などについての周知啓発、指導などに、特段のご協力をいただくよう緊急に要請します。

また、今年例年に比べ梅雨明けが早くなっています。例年以上に熱中症リスクが高くなっていると思われまますので、対策の徹底について、併せて周知啓発をお願いします。

別記

中央労働災害防止協会東北安全衛生サービスセンター

建設業労働災害防止協会宮城県支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮城県支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会宮城県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会宮城県支部

公益社団法人宮城労働基準協会

令和4年に県内で発生した死亡災害の概要

	発生日	業種	所轄労働基準監督署	事故の型	発生状況の概要
1	1月	その他の事業	仙台	転倒	業務終了後、従業員駐車場で転倒した。
2	3月	道路貨物運送業	仙台	飛来・落下	トレーラをジャッキで持ち上げた下でグリス注入作業を行っていたところ、ジャッキが外れて車体と地面との間に胸部を挟まれた。
3	3月	道路貨物運送業	仙台	交通事故	トレーラーで走行中に路面凍結によりスリップし、車両ごと橋から約30m下に転落し、炎上した。
4	3月	建設業	仙台	激突され	自社加工場の裏山で、チェーンソーを用いて偏心木の伐木中、はね上がった伐倒木が激突した。
5	6月	建設業	瀬峰	はさまれ、巻き込まれ	クレーン機能付きのドラグ・ショベルで荷を吊り上げて移動させていたところ、ドラグ・ショベルが転倒し、待機中の誘導員が下敷きとなった。
6	6月	製造業	仙台	爆発	タンクローリーのタンク上部の亀裂を補修するため、タンク上でアーク溶接をしたところ、タンク内のガソリン蒸気に着火して爆発し、爆風で吹き飛ばされた。
7	6月	製造業	瀬峰	はさまれ、巻き込まれ	製材工場において、原材料丸太を搬送する機械に機械の運転を停止しないまま立ち入り、作動した機械に頭部を挟まれた。
8	6月	建設業	古川	墜落・転落	太陽光パネルの裏側に設置した足場から転落し、胸を強打した。

速報の概要をとりまとめたものであり、今後、修正等行う場合がある。